

Q 下の箱庭(療法)作品を見てあなたは何を感じましたか?

※箱庭療法はカウンセラーが見守る中で、砂の入った箱の中にミニチュア玩具などを自由に置きながら、心の世界を表現していく心理療法です。



A 鳥と陸地の間に渡された橋が気になった。

B 動物(ライオン)の入っている檻が気になった。

C 中央の島が気になった。

充実した実習環境



鈴鹿医療科学大学附属
こころの相談センター

不登校、職場や家庭での人間関係等の諸問題について扱う有料の心理相談機関。



鈴鹿医療科学大学附属
こころのクリニック

精神科・心療内科の診療所。



鈴鹿医療科学大学関連施設
桜の森白子ホーム

特別養護老人ホームを主とする施設。

心理相談機関と精神科クリニックの両者を有し、互いに連携している大学は全国的にみても非常に珍しく、充実した実習環境を提供できます。

心の世界を体験してみよう
オープンキャンパスを実施しています。
日程など詳しくはホームページをご覧ください。

 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部
医療福祉学科 臨床心理学専攻

(平成30年度より臨床心理コースから名称変更予定)

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1
<http://www.suzuka-u.ac.jp>



2018年4月から 公認心理師養成を開始します

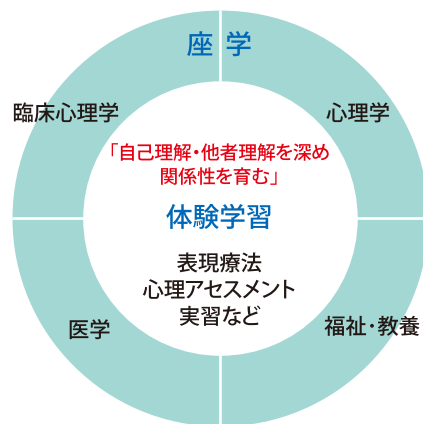
本学臨床心理学専攻(学部)では、公認心理師国家資格カリキュラムの決定を受けて、2018年4月から公認心理師養成を開始します。
あわせて、大学院医療科学研究科に臨床心理学分野を設置します(公認心理師、臨床心理士養成対応予定)。

心の世界、ちよつとのぞいてみませんか？



臨床心理学専攻
専攻長
今井 皖弍 教授

本学臨床心理学専攻の特色は、全国でもトップクラスの充実した実習環境を備えていることです。学生・大学院生は大学附属「こころの相談センター」、「こころのクリニック」や大学関連施設「桜の森白子ホーム」等で実習をおこない、即戦力になり得る実践力を養います。また、実習以外の科目でも体験学習を重視しており、例えば箱庭療法、絵画療法、コラージュ療法、園芸療法等、さまざまな表現療法を実際に体験しながら学習します。このような体験学習は、自分の在り方や他者の表現の背景を理解することを促し、関係性を育みます。この能力は、公認心理師や対人援助職に限らずどの職場で働く場合においても重要で、広く応用できる能力です。学生の皆さんには、4年間を通して自己理解・他者理解を深め、自身に適した職業を選択し、臨床心理学を各領域で役立てることを目指してほしいと考えています。



Aと
感じたあなたは…



橋は、島と陸地という二つの世界を繋げるものです。橋の上にはアヒルが乗っていることから、新しい未来（世界）に向かって歩もうとしているのかもしれない。

Bと
感じたあなたは…



動物が入っている檻が気になった人は、自分の中の攻撃性、積極性をどのように使い、どのようにコントロールすれば良いのかを思案している人だと言えます。

Cと
感じたあなたは…



中央の島が気になったという人は、自分の心の中心にある、自分に価値を感じる中心部分に重きを置いて生活していると言えます。

箱庭療法の特徴は、ある一つの作品は制作者の心の在り方の表現であるだけでなく、観察者がそれを観たり、感じたりしていること、観察者の心の在り方が映し出されるということです。それゆえ、箱庭療法は制作者と観察者（セラピスト）との意識的・無意識的相互交流が行われることによって、制作者の心が変容し、課題が解決されるというところにあります。

臨床心理学に興味を持った方、鈴鹿医療科学大学臨床心理学専攻へGO!
—公認心理師資格取得が可能です—

■公認心理師受験資格取得までの流れ

